

## 令和3年度 第7回(通算第24回) 四宮小学校運営協議会活動報告

日時 令和4年2月15日(火) 午後4時00分～

場所 四宮小学校 校長室

内容

1 校長挨拶

2 会長挨拶

3 学校の様子(校長より)

- ・コロナ感染状況について。断続的に陽性者、濃厚接触者の報告があるが、現在までのところ学級閉鎖はしていない。
- ・委員会活動、クラブ活動、縦割り班活動などは、集合せずに行える形を工夫して進めている。
- ・バスを利用した校外学習は中止している。
- ・黒板を写す、教室の音が聞こえるといった形のオンライン授業を、欠席者に対して各クラスで実施している。教員が各自工夫、努力している。
- ・ハイブリッド型の保護者会も検討したが、準備時間が不十分ということで今回は見合わせた。来年度に向けて、対応できるよう準備を進めていく。

4 協議事項

〈質問・意見〉

- ・今年度の新規採用教員の状況は。

→3名いるが、3名とも成長し、力を付けてきている。新規採用教員だけでなく、他の教員の様子も見ていただく機会が特にここ2年間少なくなっているのので、来年度はCS委員の方と教員が関わりをもてる場を設定できればと考えている。

○教育調査・学校評価について

- ・今年度からオンラインでの回答の形になった。昨年度より回答率は下がった。オンラインになったことで、やや辛めの率直な意見が聞かれるようになったかもしれない。
- ・教員の各項目の肯定率が上がっているのは、先生方が一生懸命に取り組んでいるということではないか。
- ・オンラインでのアンケート回答は、項目が多いと回答率が特に下がる傾向がある。項目が比較的抽象的だという印象を受けるので、一層答えにくいと感じた人が多いのではないか。
- ・コロナ禍で社会の閉塞感もあるので、保護者の肯定率の低下は、その影響もあるのではないか。
- ・ICT活用については、家庭の環境に差があるので、その影響もあると感じる。

- ・杉並区はセキュリティなども厳しめに設定されている印象があるので、子どもが家庭で使用するということについて、動画を見すぎるのではないかと、有害サイトに接続しないかといった不安、目を光らせるといった負担はあまり感じない。
- ・ICTについて制限を厳しくするよりも、自由に使わせる中で学ばせる方が良いのではないかと。セキュリティが強すぎるがために、アップデートがうまくいかないといった現象も起きている。
- ・ICTの制限を強めすぎると、ツールをうまく使いこなす力が十分に身に付かなくなるという懸念もある。
- ・教員の学習指導についての項目を見ると、一人ひとりの実態に合わせた指導、協力しながら学ぶ場の設定といった項目で高い数値が出ている。教師が授業改善を図っていることの証ではないか。
- ・本校の児童は総じて素直だが受け身の姿勢を強く感じる。主体性をもって学習にも取り組めるように育てていきたい。
- ・個別最適な学びについて、児童と教員とで肯定率に大きな開きがあるのが今後の課題の一つではないか。
- ・地域の結び付きもコロナ禍で弱くなっているが、同じクラス内の保護者同士の間でも弱くなり、困りごとがあっても相談する人が見付けにくいという話を耳にする。

#### ○教育課程について

- ・運動会は来年度は秋の設定だが、再来年は春に戻す予定なのか。  
→移動教室の日程に合わせて来年度は秋に運動会を行うので、秋が良いのか、春に戻した方がよいのかは、来年度検討していく。再来年度の移動教室の日程にもよる。

## 5 その他

#### ○CSの新委員について

- ・本校元校長の小山先生をメンバーとして加えたい。現在地域の教育活動にも携わっていただいている。(校長より)

→全会一致で承認。

#### ○学校運営協議会だより第4号について

- ・内容、発行日(修了式の3月24日で決定)、誤字脱字等の確認。

※次回予定： 3月 5日(土) 10:00～ 校長室